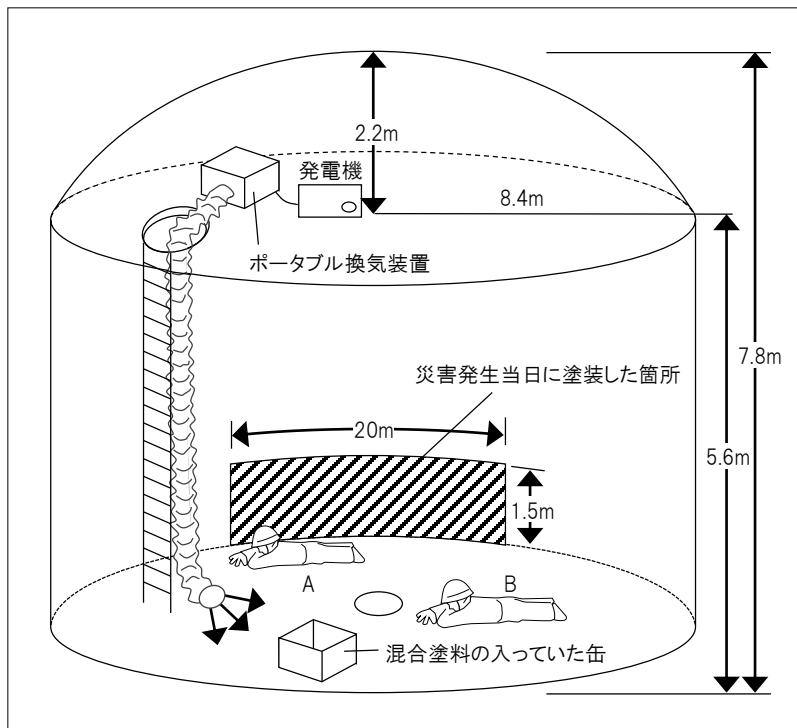


配水池タンク内の防水塗装中、換気装置の燃料切れにより中毒になる



【発生場所】

配水池タンク内の壁面下部

【被災原因】

作業員2名は、配水池タンク内壁面の防水塗装に、エポキシ樹脂と硬化剤の混合物を上塗りとして使用していた。作業中は換気装置を作動させて有機溶剤用防毒マスクを着用し、作業を行っていた。しかし、換気装置の作動に使用した発電機は燃料の消費により送風を停止し、着用していた防毒マスクの吸収缶の破過時間も過ぎていたことなどにより被災し、意識を失い倒れた。

【被災状況】

被災翌日、タンク内に倒れている作業員2名を同僚が発見した。救出後、両名とも意識は回復したが有機溶剤中毒と診断され入院加療となった。

【対策】からの抜粋

[2] 換気装置、保護マスク等の責任分担を定め、保守点検を行わせること



～理研計器からのご提案～

換気の不十分な場所では作業環境の変化に注意が必要です。有機溶剤に限らず、思わぬ状況で一酸化炭素や硫化水素の中毒、酸欠や可燃性ガスによる災害が発生することがあります。ガス検知器を使用して換気の効果を確認すると共に、携帯式ガスモニターで安全を確認しながら作業することをお勧めいたします。